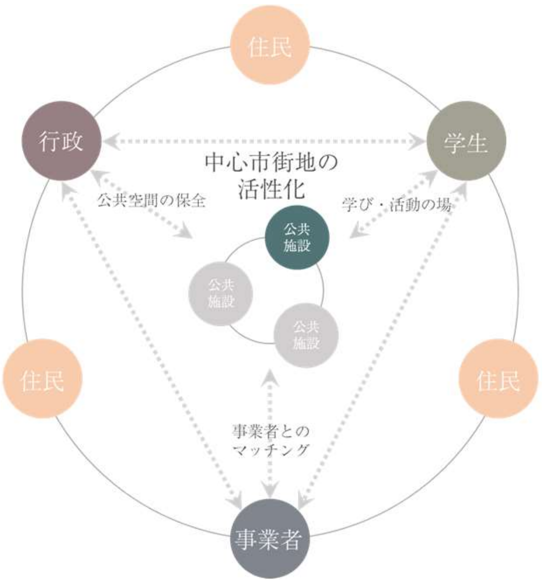
夕暮れで繋がるANAN
~夕暮れ市場は街中へ~

中心市街地は、年々活気をなくし、多くの公共施設の機能が失われてきている。
”公共施設を住民のものへ“、”商店街を町の中心へ“
夕方という街の日常に溶け込んだ市場が、中心市街地に活気を取り戻し、阿南市を新たな形で再生させる。
ここに、時代とともに移り変わる阿南市の街並みを創造する。

1.学生×事業者×行政

これまで市役所などの公共施設のスペースを活用する取り組みは数多くあるが、学生、事業者、行政を巻き込んだプロジェクトや研究は少ない。公共施設の利用者がごく一部に限られ、多くの人が繋がりをなくしているこれからの時代。夕方という多くの人が行き交う時間帯に、夕暮れ市場を開催することにより、住民を巻き込み、まちづくりをすすめていく。実績を重ね、市民に阿南市の可能性を感じてもらうこと。これにより、いつしか、意識の改革が、当たり前を変え、街を変える。公共施設のあり方、商店街の在り方、について、市民がもっと関心をもつことで、阿南駅周辺が新たな商店街を編成し、中心市街地活性化を実現する



2.　夕暮れ市場は街中へ

空き家、空き地空間を公共空間としてとらえ、緑化を行うことで、町全体へと公共空間が広がりを見せる。新しい商店街の在り方は、同じ店がその場にあり続ける不変なものではなく、その場で人が集まり、移り変わっていくようなものである。公共空間に住民が集う。そんな当たり前の光景を目にする日も近い。